

# 令和6年度 交通ネットワーク構築に向けた小諸駅前広場社会実験及び 地域公共交通サービス評価業務委託 仕様書（案）

## 1. 業務目的

小諸市立地適正化計画に基づく交通ネットワークの構築に向け、交通結節点である小諸駅前広場での社会実験を通じた、駅前広場整備の方向性を取りまとめるとともに、地域公共交通サービスの評価を行い、小諸駅を起点とした交通ネットワーク構築のための方策を取りまとめることを目的とする。

## 2. 業務内容

### 2-1. 計画準備

業務目的、本仕様書（案）等をもとに業務の実施計画を立案する。

なお、実施計画の立案にあっては、「駅まちデザインの手引き（国土交通省都市局）」及び「地域公共交通計画の作成と運用の手引き（国土交通省総合政策局）」を勘案すること。

### 2-2. 小諸駅前広場社会実験業務

#### (1) 社会実験の企画・運営

##### 1) 社会実験の企画・実施計画の検討

令和5年度に実施した小諸駅前での社会実験や調査の結果、現地状況及び新たに組成する小諸駅前広場のあり方検討ワーキンググループ（仮称）（以降「ワーキンググループ」という）の意見などを踏まえ、一層の安全かつ利便性の高い交通空間の創出に向けた小諸駅前広場における社会実験を企画し、社会実験の実施計画を立案する。

計画の立案にあたっては、駅前広場を利用する交通の特性を勘案し、結節点としての機能を発揮できる配置計画を検討するとともに、駅前広場西側の大手門公園との一体性を考慮したものとする。

##### 2) 社会実験実施に係る関係者調整及び関係機関協議支援

社会実験の実施に向け、関係者調整及び関係機関協議に必要な資料を作成すること。また、必要に応じて関係機関協議に参加するものとする。

##### 3) 社会実験の運営支援

実施計画に基づく社会実験の運営を行う。

社会実験は秋（10月頃）の1か月程度実施することとし、社会実験の運営にあたり、歩行者等の滞留空間の設置及び活用を地域の関係者と連携して行うほか、実験の効果検証に必要なデータ取得を行う。

データ取得は、実験前及び期間中の広場内の流出入交通量及び駐停車台数調査（それ

それ平日と休日の各1日(12h))を想定している。

なお、社会実験の実施にあたり必要となる安全施設設置等の工事は本業務には含まない。

また、設置した交通島等は実験終了後も原状回復せずに、維持するものとするが、安全等の問題が生じている場合は改善方策について市に提案するものとする。

#### 4) 社会実験の効果検証

社会実験の効果検証は、実験データ及び市が提供する資料などを分析し、取りまとめる。また、実験時の配置を検証し、課題を整理すること。

### (2) 駅前広場整備基本計画(案)の作成

社会実験の効果検証やワーキンググループの意見を参考に、駅前広場整備基本計画(案)を検討・作成する。作成にあたっては、小諸駅周辺の将来計画や周辺開発及び、隣接する広場空間(大手門公園など)の整備方針との整合を図るものとする。

また、基本計画(案)の具現化に向けて取りうる事業手法を検討・整理し、市に提案するものとする。

### (3) ワーキンググループ等運営支援

#### 1) ワーキンググループ運営支援

ワーキンググループは、交通事業者や学識経験者、関係機関、商業・観光事業者、地元団体、福祉団体などが参加した、駅前広場空間の整備に向けた議論の場として、小諸市が組成する。

ワーキンググループの運営支援として、小諸駅周辺地域の基盤整備の方向性や交通量の現状から、駅前広場に必要機能・規模などにかかる意見を、「小諸駅前広場の整備のあり方」としてとりまとめるほか、ワーキンググループの開催に必要な資料作成(令和5年度に実施した社会実験報告書の概要資料の作成を含む)、議事概要の作成を行う。

なお、ワーキンググループは3回開催を予定している。

#### 2) 連絡会議運営支援

またたねプロジェクト連絡会議の運営支援を行う。連絡会議の開催に必要な資料作成、議事概要の作成を行う。

なお、連絡会議は3回開催を予定している。

## 2-3. 地域公共交通サービス評価

### (1) コミュニティ交通等地域公共交通の現状把握

現在の市内の公共交通サービスである「こもろ愛のりくん」が目指すサービスについて、上位計画(地域公共交通網形成計画など)や導入検討を行った資料などを収集し、

提供するサービスとして目指した目標を整理するほか、現在運行している「こもろ愛のりくん」が確保しているサービスを整理する。

#### (2) 利用者ニーズの整理

これまで（令和3年～）の「こもろ愛のりくん」の利用実態及び乗降ポイントを整理し、利用者特性、利用者ニーズ（目的地特性）などについて分析・整理する。

これにより、現在の運行体系における利用者ニーズ（目的施設の類型など）について把握するものとする。

#### (3) 提供サービス及び運営・運行に係る課題整理

これまでの「こもろ愛のりくん」の利用実態からニーズの高い主要施設への各地域からの時間圏を整理し、地域ごとのサービスの格差などについて把握する。

また、サービスを提供する運行事業者（タクシー会社）及び運行管理者（まちづくり小諸）へ運行やサービス提供に係る問題点や課題についてアンケート調査又はヒアリング調査を実施し、把握する。

#### (4) 交通サービスの課題整理

「こもろ愛のりくん」の現状把握と整理等を踏まえ、「公共交通サービスの提供方針」に対し、現在の利用者ニーズや提供サービス及び運営・運行面の問題点を整理し、「こもろ愛のりくん」の課題として取りまとめる。

#### (5) 小諸駅などを起点とした交通ネットワーク構築方策の検討

上記（1）～（4）を踏まえ、小諸駅などの小諸市中心部を起点とする公共交通ネットワークの構築に向けた必要なサービスを検討する。

なお、必要なサービスの提供にあたり路線バス（定時定路線）の可能性について検討し、必要性が認められる区間について、実証実験に向けて必要な資料作成等を行う。

#### (6) EV3輪カート等の2次交通の運行評価と課題整理

令和3～5年度の社会実験で運行したEV3輪カート（スマートカート egg）等について、社会実験の結果を分析し、小諸市来訪者の2次交通としての利便性や回遊支援などの側面から評価を行い、一層利便性の高い2次交通とするための課題を整理する。

### 2-4. 報告書の取りまとめ

令和7年度以降に策定予定となる「小諸市地域公共交通計画」の骨子として活用できるよう、また、駅前広場整備の諸元として活用できるよう、これまでの検討結果を報告書として取りまとめる。